

日本オリエント学会第52回大会プログラム

日時 2010年11月6日(土)・7日(日)
会場 国士舘大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎
(東京都世田谷区世田谷 4-28-1)

第1日 11月6日(土)

公開講演会・奨励賞授与式：梅ヶ丘校舎 34号館 B棟 301教室

13:00 開場

14:30 公開講演会

沢田 正昭(国士舘大学 21世紀アジア学部教授、アジア・日本研究センター長)
「オリエント古代壁画等遺跡の保存」

大村 幸弘(財・中近東文化センター常勤理事アナトリア考古学研究所所長)
「青銅器時代の終焉と暗黒時代」

17:20 日本オリエント学会奨励賞授与式

18:00 懇親会(スカイラウンジ：梅ヶ丘校舎 34号館 10階)

第2日 11月7日(日) 9:30~17:45

研究発表会：梅ヶ丘校舎 34号館 B棟 2階、3階

日本オリエント学会第52回大会実行委員会

〒195-8550 東京都町田市広袴1-1-1
国士舘大学アジア・日本研究センター内
電話 042-736-1070 ファクス 042-736-2420
e-mail: orient52@kokushikan.ac.jp

大会当日も上記番号にご連絡いただけます。

11月7日(日) 研究発表

第1部会 [34号館 B棟 3階 304教室]

		発表者	研究題目
1	9:30-10:00	門脇誠二	南レヴァント地方、後期新石器時代の石器インダストリーと石刃製作 : アル=バサティン遺跡の接合資料から
2	10:05-10:35	藤井純夫	ヒツジ遊牧の起源: ヨルダン南部ジャフル盆地の水利遺構調査から
3	10:40-11:10	間舎裕生	中期青銅器時代終盤から後期青銅器時代にかけての 南レヴァントにおける防御施設に関する考察
4	11:15-11:45	土居 通正	エーゲ海青銅器時代に於けるパピルス文様の受容と展開 特に前15世紀後半の土器様式の問題に関して
	11:45-13:00	昼食	
5	13:00-13:30	大津忠彦 有松唯	ホセナバード遺跡(イラン)出土暗色磨研土器の再検討
6	13:35-14:05	足立拓朗	古代西アジアにおける鉄器時代物質文化の変容
7	14:10-14:40	西山伸一	北西シリア鉄器時代の地方神殿: テル・マストゥーマの事例の再検討
8	14:45-15:15	渡辺 千香子	アッシリア美術における物語絵画の構図と様式に関する考察
	15:15-15:30	休憩	
9	15:30-16:00	四角隆二	有翼鷲頭精霊像モチーフに関する一考察
10	16:05-16:35	江添誠	ローマ時代のデカポリス都市 ガダラとゲラサの盛衰
11	16:40-17:10	杉本智俊	ユダ式柱状土偶とアスタルテ
12	17:15-17:45	岡田保良	オリエントにおける曲面組積の工法とその地域性について

第2部会 [34号館 B棟 3階 303教室]

		発表者	研究題目
1	10:05-10:35	中野智章	ウナス王のピラミッド玄室に刻まれた幾何学文様について
2	10:40-11:10	河江肖剰	ギザのケントカウエス女王墓のデータ収集と考古的解析
3	11:15-11:45	銭廣健人	葬送用コーンを利用した古代エジプトの社会的地位の比較
	11:45-13:00	昼食	
4	13:00-13:30	近藤二郎	エジプト新王国第18王朝アメンヘテプ3世時代の岩窟墓について
5	13:35-14:05	菊地敬夫	アメンヘテプ3世王墓のアムドゥアト書について ~王墓埋葬室の装飾としての視点から~
6	14:10-14:40	河合望	アクエンアテン王の後継者をめぐって
7	14:45-15:15	高橋寿光	エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡のピットから出土した土器群について
	15:15-15:30	休憩	
8	15:30-16:00	吉村作治 矢澤健	エジプト・ダハシュール北遺跡 2009年調査報告
9	16:05-16:35	和田浩一郎	後期青銅器時代の南レヴァントおよびヌビア地方における遺体の頭位方向 - エジプトの影響を焦点に -
10	16:40-17:10	長谷川奏 恵多谷雅弘	エジプト西方デルタ地域の遺跡分布 - プハイラ県マハムディーヤ市の事例 -

第3部会 [34号館B棟3階302教室]

		発表者	研究題目
1	9:30-10:00	辻田明子	ドゥムジアブズ神 女性神から男性神へ
2	10:05-10:35	森若葉	シュメール語動詞における方向表現の分類
3	10:40-11:10	大久保五月	シュメール語王讃歌の変遷 王と神々の「近親関係」という視点から
4	11:15-11:45	堀岡晴美	ファラにおける居留地建設とマルトゥ
	11:45-13:00	昼食	
5	13:00-13:30	田中裕介	シュメール初期王朝時代末ラガシュの組織と人々
6	13:35-14:05	小板橋又久	ギルガメシュ叙事詩に見られるアルー楽器の音
7	14:10-14:40	山田雅道	エマルにおけるズクル祭：ダガンとニヌルタの役割りについて
8	14:45-15:15	川崎康司	サムス・イルナによるキシユ市の再建
	15:15-15:30	休憩	
9	15:30-16:00	櫻井絵美夏	ジムリ・リムの対シンジャール政策 - クルダ王ブヌ・エシュタルとの関係を中心に -
10	16:05-16:35	依田泉	『ギルガメシュ叙情詩』における神々の役割とその変化
11	16:40-17:10	山田重郎	テル・タバン出土養子縁組文書
12	17:15-17:45	杉江拓磨	前7世紀のアッシリアにおける「マルドゥク予言」の受容

第4部会 [34号館B棟2階205教室]

		発表者	研究題目
1	9:30-10:00	澤井真	ジュナイドにおける「原初の契約」とその意味
2	10:05-10:35	宋 暎恩	ジャーミーの『閃光の輝き (Ashi ' ' at al-Lama ' t)』における下降と上昇の関係
3	10:40-11:10	中西悠喜	『プラトンの知性的諸形象』に見る形象論の諸相
4	11:15-11:45	矢口直英	医学の注釈文献
	11:45-13:00	昼食	
5	13:00-13:30	松本隆志	通史史料におけるハッジャージュの人物像について
6	13:35-14:05	橋爪烈	『王冠の書』に見るアドウド・アッダウラの王統観
7	14:10-14:40	亀谷学	八世紀中葉バスラにおける海寇とインド西北部情勢
8	14:45-15:15	栗山保之	アラブのインド洋航海における島の役割
	15:15-15:30	休憩	
9	15:30-16:00	片倉鎮郎	「商人王」サイド・サイド：19世紀初葉のブー・サイド朝政権
10	16:05-16:35	四日市康博	イル=ハン朝下イランのオルトクとその交易活動
11	16:40-17:10	白岩一彦	ラシード・ウッディーン『ガザン史』挿画入り写本について タシュケント写本 (B r n 1620) を中心に
12	17:15-17:45	林則仁	15世紀ペルシア細密画における"Turkman Style"の成立過程をめぐって

第5部会 [34号館B棟2階204教室]

		発表者	研究題目
1	9:30-10:00	田中英資	文化遺産の保護と破壊を分けるのは何か？ トルコにおける古美術品の不法取引問題を事例に
2	10:05-10:35	田辺理	ガンダーラの仏教彫刻における娼婦と娼館 男性の顎を掴む女性と鏡を見る女性を中心に
3	10:40-11:10	影山悦子	ウスルシャナの都城址カライ・カフカハ 遺跡から出土した壁画について
4	11:15-11:45	土谷遥子	ブグッチ遺跡 聞き取り調査(2008)に関する現地調査(2009) パキスタン北部地方ダレル渓谷と『法顕伝』陀歴仏教寺院
	11:45-13:00	昼食	
5	13:00-13:30	高橋圭	1890年代エジプトにおけるタリーカ批判とナショナリズム
6	13:35-14:05	福永浩一	「ハサン・バンナーの論考集に見られる歴史叙述の特徴」 - 初期ムスリム同胞団における思想についての予備的考察
7	14:10-14:40	岡戸真幸	地方出身者の社会的ネットワーク構築のあり方 エジプト都市部の同郷者団体を中心にして
8	14:45-15:15	蓼沼理絵子	ミムナーに見る現代イスラエル社会の共生と共食
	15:15-15:30	休憩	
9	15:30-16:00	貝原哲生	6 - 7世紀エジプトにおける教会とその社会的影響力 オクシュリンコス、ファイユームを中心に
10	16:05-16:35	石川博樹	ハム仮説とエチオピア
11	16:40-17:10	岡田真弓	近代国家イスラエルにおける国立公園 / 自然保護区の成り立ち 法整備と国土開発の視点から見た「文化資源」の国有化

ポスター発表 [34号館B棟2階通路]

	発表者	研究題目
1	西秋良宏、門脇誠二、下釜和也	ユーフラテス川中流域の先史遺跡 第四次踏査報告
2	久米正吾、沼本宏俊	テル・ガーネム・アル=アリ遺跡(前期青銅器時代)直近墓地の 発掘調査(2009年)
3	近藤二郎、菊地敬夫、柏木裕之 河合望、西坂朗子、高橋寿光	テーベ西岸岩窟墓第47号(TT.47)の調査
4	吉村作治、近藤二郎、河合望	エジプト、メンフィス・ネクロポリスの文化財保存面から見た 遺跡整備計画の学際的研究: 2007~2009年度中間報告
5	菊地敬夫、犬井正男 佐藤真知子、吉村作治	アメンヘテプ3世王墓の埋葬室に描かれた壁画の史料化に向けた デジタル画像化
6	吹田浩	日本・エジプト合同マスタバ・イドゥート調査ミッションの 活動と特色(2003-2010)
7	永井正勝	古代エジプト神官文字の画像データベースについて
8	貝原哲生	6 - 7世紀エジプトにおける教会とその社会的影響力 オクシュリンコス、ファイユームを中心に
9	関廣尚世	カジュバルダム水没危機遺跡からみたスーダン考古学の現状と課題

【国土館大学世田谷キャンパス アクセス案内】

梅ヶ丘校舎へは小田急線梅ヶ丘駅が便利です（徒歩 10 分）

